



世界への
プレゼントに
なろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

WEEKLY REPORT

No.2843 2016年5月9日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

★ 点 鐘

卯野福弥会長

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会 卯野福弥会長

★ 出席報告

榎木直行委員長

会 員 数	30名
出 席 者	16名
欠 席 者	12名
出席免除者	2名
出 席 率	57.1%

★ 会長挨拶

卯野福弥会長

長かったゴールデンウィークも終わりましたが、皆さんいかがお過ごしでしたか。今年も県内外からこのひたちなか市にたくさんのお客様が訪れました。ゴールデンウィークが終われば私たちの年度もあと少しとなりますが、次年度に向けてのいろいろな準備が川崎通夫会長エレクトのもと着々と進められています。委員会編成表や例会プログラム予定表、そして予算案などの作成で何かとご苦労されていることとお察し申し上げます。

先週の私の卓話で「クラブを元気にしよう！」というお話をパワーポイントと録音で「地区指導者育成セミナー」の一部をお伝えしましたが、残念ながらゴールデンウィークのまっただ中ということがあったせいか、出席率があまり芳しくありませんでした。このままいくと、元気がないクラブになってしまうかもしれません。

次年度は今年度以上にクラブがより元気になるために、私たちのクラブはどうしたら「元気」になれるか「本気」になって取り組んでいかなければならないと思っています。元気なクラブづくりのために、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

★ 委員会報告

ニコニコボックス委員会

榎木直行委員長

高田憲一郎会員……ご無沙汰しております。

★ 卓 話

「ロータリークラブに入会して」

峯岸邦夫会員

久しぶりの卓話担当が回ってまいりました。本年度は岡田勝さんの卓話、菊池眞一郎さんの卓話と職業柄のお話に興味を持ちました。さて



自分のことになると、時計、貴金属等の卓話を考えましたが、現在の業界では全く元気がなくお話しすることはありません。以前の国産時計でしたらセイコー、シチズン等だいたい決まっておりました。現在は物凄い種類と大小様々な形の変ったおもしろい時計もあり、また若い人達はネットで購入しているようです。街の時計店では電池の交換、鎖バンドの調整等に来る顧客がだいぶ多くなりました。時計の中の機械は皆同じものが使われています。一方貴金属の関係は販売するよりも、皆さんはご承知の通り下取り等が多く、変な時代、不景気な時代になったように思います。ただ金の価値が高いため、少しの金でも高額になり、ボーナスでも貰ったようにお客さんは喜んでおります。そんな現状ですので本日は業界の話でなく、今年私が担当しておりますロータリー情報委員会と私個人の情報を話してみたいと思います。

学校を卒業する頃は、会計事務関係に進みたかったのですが、家業が忙しく(株)峯岸時計店に就職しました。その当時は、店での販売、県内での外商、水戸志満津百貨店内の店舗、水戸駅前の茨交ストアの店舗を午前8時にスタートして、帰宅するのが午後8時という忙しい生活をしておりましたが、今では懐かしい思い出となりました。

昭和36年頃池田勇人総理による「所得倍増計画」東京オリンピック後の田中角栄総理による「列島改造計画」その後竹下登総理の時は最高のバブル時代に入りました。その間の話をしますと、昭和30～34年頃までは舶来時計はエニカ、オレオール、ケースはK18これがほとんどでした。昭和33年頃ようやく国産の時計が生産されるようになりましたが、数が少なく地方には各店4～10個程度しか入ってきませんでした。当時は品物があればすぐ売ってしまう時代でしたので、東京銀座の服部時計店へ出向き、交渉して少しでも分けて貰ったことも度々ありました。展示会があると前日に行って接待して分け

て貰ったこともありました。品物があれば売れる時代でしたので、二泊三日の出張に行っても初日で完売してしまうことが度々ありました。

次に、ロータリークラブ入会についてですが、昭和58年頃からお誘いがあったと思います。私個人としまして全くロータリーに関しては無知でして、銀行へ行った時などある支店長さんから「今度入会するんだよね」と突飛もない声をかけられ戸惑ったことがありました。ロータリークラブとは入会するまでは本人には何も知らせず、クラブ会員並びに理事会の承認を得てから入会が決定するのだとその時わかりました。昭和62年4月の誕生月に入会させていただきました。

当時のクラブには、いわゆる那珂湊の長老、お偉方、会社の社長等が会員でして、それらの方々と親しくお話が出来、楽しかったことを思い出します。その中には安達傳八さん、菊池醇さん、鯉沼勝一さん、岡田實さん、遊座文治さんもおられました。入会して13年目の平成10年度(1998～99)の会長を務めさせていただきました。当時の会員数は58名で、何をやっても楽しい時代でした。事業は各委員会が担当し、その他会員の希望により、観劇会(担当は興野正憲さん)、プロ野球観戦(担当は根本隆会員)、大相撲観戦(担当は鹿志村吉信会員)にお世話になりました。参加者はバス1台分で募集すると直ぐに一杯になるという有様でした。もう一つの事業は、ロータリー財団1学年国際親善奨学生として深谷雄樹君がハワイ大学マノア校に1年留学が決まり、宮崎一雄会長年度に行われました。また、アメリカ第5710地区より、ジュニアブリースさんが那珂湊二高生の高木麻理さんとの交換学生として私の年度に行われました。その結果は深谷雄樹君の方は成功しましたが、高木麻理さんの方は、ジュニアブリースさんがホームシックにかかり、夜分長々と電話していたようです。那珂湊二高では歓迎の準備が出来、9月1日を待っていたのですがそれも出来ず8月31日那珂湊二高へお詫びに行って参りました。その報告のため、笠間稲荷神社へ行き塙東男ガバナー及び山崎清司委員長にお詫び方々説明に行って参りました。その席で聞かされたことが、実は当クラブ推薦で渡米した那珂湊二高生の高木麻理さんも馴染まず帰国したいとの連絡がありました、と聞かされガッカリしたことを覚えております。やはり水戸から那珂湊二高へ通う学生では無理があったのかと思いました。

あれから17年が経ち、景気も悪くなりロータリー会員も減少してしまいました。平成に入ってから規制緩和により、誰もが自由に商売が出来るようになりました。その結果町内には、酒屋さん、電器屋さん、その後いろいろな店がなくなりました。どこの町でも小売業を営んでいたロータリー会員がたくさんおられたと思います。今後も町中の路面店は厳しくなると思います。従って会員増強は法人事業者に向けなければいけないと思います。そのためにはどんな方法をとるべきか、皆さんで考えなければならぬと思います。

最後にロータリー情報を

ロータリー会員数 最高時 日本 135,000人
2820地区 2,886人
現在(ロータリーの友5月号) 日本 89,503人
2820地区 2,000人

[ロータリークラブ創立年表]

東京 大9.10.20 初代会長 米山 梅吉
大阪 大11.11.17 初代会長 星野 行則
神戸 大13.8.13 初代会長 松方孝次郎
名古屋 大13.12.17 初代会長 伊藤次郎左衛門
京都 大14.9.28 初代会長 武田 五一
横浜 昭2.6.1 初代会長 大久保利賢
広島 昭7.2.6 初代会長 井原 外助
札幌 昭7.12.3 初代会長 佐藤 昌介
福岡 昭8.3.5 初代会長 野中 季雄
北海道 昭8.12.12 初代会長 伴 房次郎

第2820地区では

水戸 昭26.2.1 初代会長 亀山 甚
日立 昭28.6.10 初代会長 福田 重清
那珂湊 昭30.8.17 初代会長 大平 繁蔵
石岡 昭32.6.20 初代会長 川並 要
土浦 昭33.2.14 初代会長 天谷虎之助
竜ヶ崎 昭34.11.25 初代会長 荒井源太郎
常陸太田 昭35.1.13 初代会長 島津 三郎
笠間 昭35.3.8 初代会長 塙 瑞比古
水戸西 昭35.3.9 初代会長 佐藤 宗明
下館 昭35.5.25 初代会長 関 彰

第2820地区歴代ガバナー (*印は故人)

*渡辺覚造 1961-62 水戸 第355 (関東・新潟)
*岡崎藤麿 1969-70 水戸 第355 (新潟・群馬・栃木・茨城)
*岩瀬圭一 1972-73 土浦 第355 (栃木・茨城)
*田中達次郎 1974-75 日立 第355 (栃木・茨城)
*江幡広松 1976-77 水戸西 第355 (栃木・茨城)
*湯原竹之助 1978-79 土浦 第255 (栃木・茨城)

*中島鏡太郎 1980-81 下館 第255 (栃木・茨城)
*衣笠秀夫 1982-83 水戸 第255 (栃木・茨城)
*斎藤 隆 1984-85 日立 第255 (栃木・茨城)
*小竹俊夫 1986-87 土浦南 第255 (栃木・茨城)
*平輪憲治 1988-89 鹿島臨 第255 (栃木・茨城)
*宅間美治雄 1990-91 下館 第255 (栃木・茨城)
*山縣健三 1992-93 水戸西 第2820 (茨城)
*根本正一 1993-94 那珂湊 第2820 (茨城)
*山本吉蔵 1994-95 石岡 第2820 (茨城)
*木村 功 1995-96 竜ヶ崎 第2820 (茨城)
佐藤二郎 1996-97 土浦 第2820 (茨城)
*西村敏彦 1997-98 古河 第2820 (茨城)
塙 東男 1998-99 笠間 第2820 (茨城)
吉澤繁男 999-00 水戸 第2820 (茨城)

[ロータリー年表]

1868.4.19 (慶応4) ポール・P・ハリス ウィスコンシン州ラシーンで生まれる。
1871 (明治4) 家業が破産して一家四散。ポールはヴァーモント州ウォリンダポートの祖父母のもとに預けられる。
1886 (明治19) バーリントン市のヴァーモント大学入学。
1891～96 (明治24～29) 5年間放浪の旅をして、この間に17の職業を経験する。
1896 (明治29) シカゴへ。
1900 (明治33) 友人弁護士と散歩の途中、町の人達との親しい関係を見て、多くの職業から1人を選び、宗教、政治を超越し寛容の精神で結ばれた親睦団体を作りたいと考える。
1905.2.23 (明治38) シカゴ市ディアボーン街ユニティビルの711号室で4人の友人が集まった。これが、ロータリーの創立となった。
1905.3.9 (明治38) 第2回総会で2人が入会。
1905.3.23 (明治38) 第3回総会で初めて卓話が行われた。そして役職とその選任をし、互の職場を輪番制で総会場とすること、そして名称をロータリーとした。また連続4回欠席した者は会員資格を失うことを定めた。欠席者に50セントの罰金を課すことも定められた。
1905.5 (明治38) 第6回総会にチャールズ・A・ニュートンが昼食に手間どり遅刻する。第7回総会からホテルで昼食付きの総会となった。
1906 (明治39) 二代会長アル・ホワイトがドナルド・カーターにロータリーの利己的な互惠主義を指摘されシカゴ市に公衆便所を作る。ロータリーの記章に馬車の車輪が用いられた。
1907 (明治40) ポール・ハリス シカゴクラブ

の三代目会長となる。ハリー・ラグルスによりロータリーソングの合唱が始まる。

1908 (明治41) サンフランシスコに2番目のクラブが出来る。シカゴクラブにアーサー・F・シェルドンとチェスリー・R・ペリー入会。シカゴクラブで写真入会員名簿が作成された。

1912 (大正元) 国際ロータリークラブ連合会と改称。ロータリーの記章に歯車の形が採用された。

1915 (大正4) 「ロータリー倫理訓」を採択。地区ガバナーを置いた。(186クラブを19地区)

1916 (大正5) 非英語圏に初めて、キューバのハバナRCが創立された。

1917 (大正6) 「ロータリー財団」創立の提案がされる。メルピン・ジョーンズがライオンズクラブを結成。

1919 (大正8) 東洋初のクラブが、フィリピンのマニラに創立。

1920.10.20 (大正9) 東京クラブ創立総会。

1921.4.1 (大正10) 東京クラブ認証される。

1922.11 (大正11) 大阪クラブ創立。

1922 (大正11) 標準ロータリークラブ定款採択。

1923 (大正12) セントルイス大会で「決議23-34」採択。関東大震災でRIや世界各RCより義援金が寄せられた。

1924 (大正13) ロータリーの記章に24枚の歯車と6本の軸に1つの楔穴をもつ形が制定された。

1929 (昭和4) 2月23日を「ロータリー創立記念日」と決議。「四つのテスト」シカゴのハーバートテイラが発表。

1935 (昭和10) 道德律を制定する。第5回太平洋会議がマニラで開催されポール・ハリス来日する。

1939.7 (昭和14) 日満ロータリー連合会が黙認された。

1940.9.11 (昭和15) 軍部の弾圧で各クラブが解散するなか東京クラブも解散して水曜倶楽部となる。

1940.9.17 (昭和15) 大阪クラブ解散、金曜会となる。

1943.1 (昭和18) RI理事室で「四つのテスト」承認。

1946.1 (昭和21) 戦争中のロータリー活動を、東京RCの柏原孫左衛門が全国を調査して、東京水曜クラブ会長小松隆PGよりG.H.Qのバラード大佐を通じて、RI事務総長ラブジョイ

に報告する。

1946.4.28 (昭和21) 米山梅吉PG死去。

1947.1.27 (昭和22) ポール・ハリス死去。

1947.3.18 (昭和22) ロータリー復帰協議会が始まる。

1949.3.29 (昭和24) 東京RC他、RIに復帰。

1953 (昭和28) 「ロータリーの友」創刊。「米山基金」東京RC基金の積立を始める。

1961.5 (昭和36) 東京国際大会開催。

1968 (昭和43) 東ヶ崎潔 (東京RC) RI会長に就任。

1971 (昭和46) 355地区が (茨城、栃木) の355地区と (新潟、群馬) の356地区に分割された。

1974 (昭和49) WHOがポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、結核、はしかの免疫投与拡大プログラム発足。

1977 (昭和52) 355地区が255地区へ地区番変更。

1978.5 (昭和53) 2度目の東京国際大会開催。

1982 (昭和57) 向笠広次 (中津RC) RI会長に。

1986 (昭和61) 「2005年迄に世界の幼児にポリオ免疫措置を実施するというRIの誓約を確認する決議」を採択。

1991 (平成3) 255地区が2550地区となる。

1992 (平成4) 2550地区の栃木が2550地区、茨城が2820地区へ分割。

平磯海岸 (巻頭写真説明)

平磯海岸には、おおむね北へ30～40度傾斜した白亜系那珂湊層群の岩礁が連続して分布している。これは、およそ8,000万年前頃の大陸棚斜面において形成されたタービダイトからなる砂岩泥岩互層が、その後の隆起に伴って緩やかに傾斜し、さらに、礫岩、砂岩、泥岩からなる岩石のうち、軟らかい部分が海食によって選択的に削られて、いわゆる「鬼の洗濯板」状になったものである。

当時の海に生息していたアンモナイト、モササウルス、ウニ、二枚貝、サメなどの化石も発見されており、特に異常巻アンモナイトの群棲地として有名である。このアンモナイトの発見は、茨城県内最初の中生代の地層の発見ともなった。

清浄石以南の海岸330㎡の地域が、茨城県指定天然記念物に指定されている。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」